

農業集落排水整備効率化・機能保全技術開発事業（新規）

【56（0）百万円】

対策のポイント

農業集落排水施設の効率的な整備と既存施設の長寿命化を進めるため、低コストで早期に整備する処理方式の技術開発・実証を行うとともに、機能診断を含むストックマネジメント手法の技術確立を図ります。

- ・ 農業集落排水事業については、昭和58年度の事業創設以来約4,800地区で供用され、普及人口は約343万人となりましたが、未普及人口はいまだ約282万人であり、施設整備を更に推進していく必要があります。
- ・ しかし、今後の整備予定地区には中山間地域等の小規模な集落が残されていること等から、農業集落排水施設の整備に当たっては、更なる効率化・低コスト化を図る必要があります。
- ・ 一方、供用開始している市町村では、施設の老朽化や劣化に伴う処理施設の改築の増加等から、施設の長寿命化を図りライフサイクルコストを低減するストックマネジメントの導入も必要となっています。

政策目標

活力ある農村社会の形成及び循環型社会の構築

< 内容 >

農業集落排水施設の効率的な整備と長寿命化を進めるため、以下のような技術開発等を行います。

二次製品を活用した処理方式やコンパクトな処理方式の技術開発
実証試験による性能確認
処理施設及び管路施設の機能診断手法の確立
農業集落排水施設のストックマネジメント手法の確立
設計・施工・管理に係る技術資料の作成

< 事業実施主体等 >

1. 事業実施主体 民間団体等
2. 補助率 定額
3. 事業実施期間 平成20年度～平成22年度

[担当課：農村振興局整備部地域整備課（03 - 3502 - 6338（直））]